

メプチン 各部位の名称



カウンター使用終了の目安



残り9回

使用終了

吸入補助具装着図



メップレップ

メーカー提供スプレーサー装着図



ポケットスプレーサー

吸入スプレーダー (紙製)

ガイドライン推奨スプレーサー



(例: オプティチャンバーダイヤモンド)

メプチンの用法用量等の理解度の確認

発作治療薬の理解

- 長期管理薬 (定期薬) ではなく発作治療薬であることを理解している。
- 常時携帯する必要性を理解できている
- 発作時は最初の吸入から20分後に症状があれば追加吸入し、さらに20分後にも症状がある場合はもう一度吸入しそれでも症状があれば、すぐに救急受診することが理解出来ている
- 指示された1日の吸入上限回数を使用した場合は医療機関を受診することが理解できている

用法用量の理解

メプチンの初回準備方法

初回操作

- キャップを外す
- 容器を数回 (5回程度) よく振る
- カウンターが”102” から”100” になるまで2回空噴霧する

初回のみの操作

- ・ 初回のみの操作であり毎回行わないように説明して理解を確認する。
- ・ しばらく使用していなくても初回の操作は不要。

メプチンの吸入チェックリスト

※吸入口が汚れた場合は乾いたティッシュペーパーなどで吸入口を拭く。本体は水洗いしないこと、水洗いが必要な場合は吸入口を取り外してぬるま湯で洗いよく乾かしてから本体に取り付ける。

※□操作は押しボタンを上にして行う。

※□アルコール過敏症でないことを確認する。

(1パフに醤油約2滴のエタノールが含まれている)

① 薬の準備	<input type="checkbox"/> カウンターで残量を確認する。 <input type="checkbox"/> キャップをはずし、容器を数回（5回程度）よく振る。 <input type="checkbox"/> 押しボタンが上になっていることを確認する。	器具の操作
-----------	---	-------

・カウンターが「0」になってもレバーは1回だけ押せてカウンターは「■9」になりますが使用しないこと。それ以降ボタンが戻らず押せなくなる。

② 息吐き	無理をしない程度に息を吐き出す	該当なし
----------	-----------------	------

・息吐きはDPIと比較し軽くでも問題ない。（ゆっくり深く吸うため）

③ 吸入	<input type="checkbox"/> 吸入口を歯で軽く噛む（クローズドマウス法）または唇から3~4cm離して口を大きく開ける（オープンマウス法） <input type="checkbox"/> 息を吸い始めると同時にポンベをしっかりと確実に1回押し、薬をゆっくり深く吸い込んでいる。＜片手で押しにくい時は押しボタンを両手で押すか、補助具（メップレップ）を活用する＞	吸入手技 吸入同調
---------	--	--------------

・先にクローズドマウスで指導しむせなどで難しい場合オープンマウスで指導する。
 ・噴霧と吸気と同調が難しい場合やむせてしまう時はスパーサーを考慮する。
 ・吸気は3秒以上かけてゆっくり深く吸う。

④ 息止め	<input type="checkbox"/> 吸入口から口を離して5~10秒息を止める。（5秒が難しい場合は苦しくない程度）	息止め
----------	--	-----

・気管支への薬剤の沈着率向上のため息止めをする。

⑤ 息吐き	息をゆっくり吐き出す（吸入口に息を吹きかけていない）	該当なし
----------	----------------------------	------

・1回目の吸入で気管支を拡張し2回目の吸入をしっかりと吸うため可能であれば1分間隔をあける。

※2回吸入する場合 1分間隔をあける

⑤ 後片づけ	<input type="checkbox"/> 使用後は吸入口を拭いてからキャップをする	器具の操作
-----------	---	-------

・ステロイド含有製剤と異なり、緊急時の使用が想定されるので可能であればうがいは行う。

⑥ うがい	吸入後はうがい（ガラガラ・ブクブク）するよう心がける	該当なし
----------	----------------------------	------